

普及やいま

第141号

発行

八重山農林水産振興センター
農業改良普及課

沖縄県石垣市真栄里438-1

TEL 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

TEL 0980-87-2354(代)

新たな時代に対応した八重山地域の農業振興 ～平成29年度普及指導について～

1 はじめに

沖縄観光が好調に推移する中で、八重山地域においても、毎年100万人を超える観光客が訪れております。今後も八重山地域が魅力ある観光地として発展し続けるには、農業振興による地域の活性化が不可欠であり、今後ますます重要となって来ると考えられます。しかし、他地域と同様に八重山地域においても農業を取り巻く環境は、高齢化、後継者・担い手の減少が大きな課題となっており、度重なる台風等の気象災害、生産資材等の高騰などによる生産コストの増大など厳しいものがあります。県としても、これらに対応するため、新たな地域農業の担い手育成を掲げ、「新規就農・経営継承総合支援事業」、一括交付金を活用した「農林水産物流通条件不利性解消事業」等の各種施策による農業の活性化へ向けた取組んでいる中で、八重山農林水産振興センター農業改良普及課においては、「沖縄21世紀農林水産振興計画」並びに「沖縄県協同農業普及事業の実施に関する方針」等に基づき、①安定的な農業の担い手育成、②おきなわブランドの確立に向けた産地育成、③環境と調和した農業生産、④地域資源の活用による農村振興の4点を重点課題として位置づけ、普及指導計画を策定しました。農家の皆様方をはじめ、市町やJA等の関係機関・団体と協働体制で普及指導に取り組むこととしておりますので、ご協力・ご支援をお願いいたします。

2 平成29年度普及指導計画の重点課題の概要

① 安定的な農業の担い手育成

- ア 認定農業者の経営改善計画の進行管理支援、再認定支援をします。
- イ 新規就農講座を開講し、新規就農者への個別支援を行います。
- ウ 青年農業者のプロジェクト活動推進、青年農業者の組織化を支援します。
- エ 女性の農業への参画や家族経営協定の締結促進を支援します。

- イ かんしょの産地育成、さとうきび、水稻の生産振興を支援します。
- ウ 繁殖牛の改良推進、自給飼料生産向上を支援します。

③ 環境と調和した農業生産

- ア 食の安全・安心を確保するため農業適正使用等の指導・支援に取り組みます。
- イ エコファーマー等の認定を支援し、環境保全型農業の推進に取り組みます。

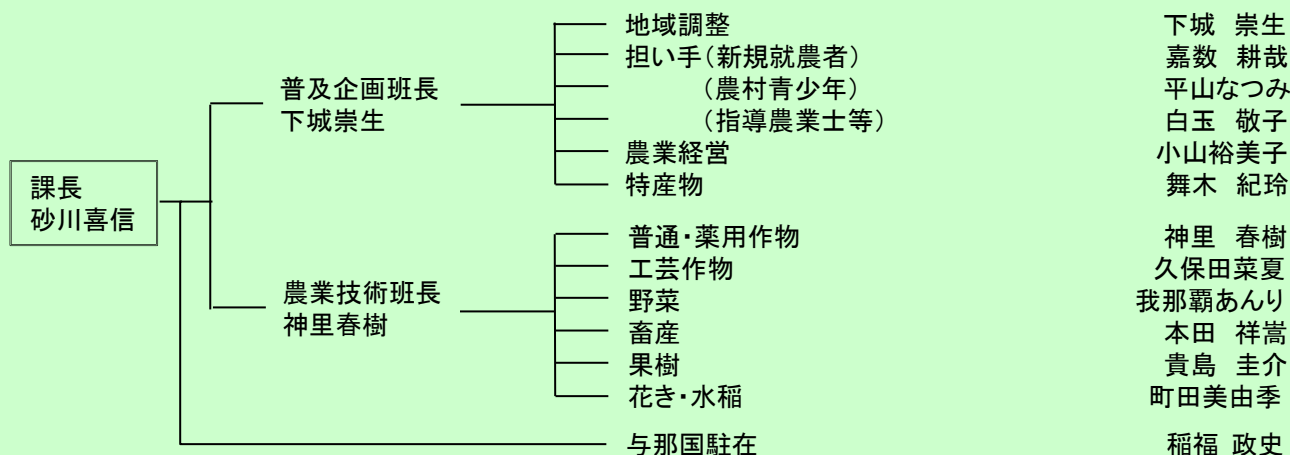
② おきなわブランドの確立に向けた産地育成

- ア オクラ・かぼちゃ・ゴーヤー、熱帯性花き、パインアップル、マンゴー等の安定生産技術、高品質化、台風対策、新規農家育成、産地協議会の活性化を支援します。

④ 地域資源活用による農村振興

- 地域農業指導事業の実施により、農村の活性化を支援します。

八重山農林水産振興センター 農業改良普及課体制(平成29年度)



八重山地区農業機械士協議会 創立30周年



八重山地区農業機械士協議会は、平成29年5月に創立30周年を迎え、総勢50名あまりの新・旧会員及・関係機関が出席し、創立30周年の記念式典・祝賀会が開催されました！

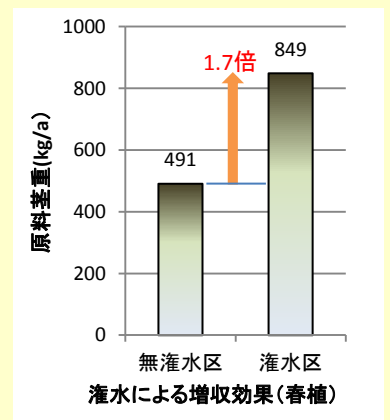
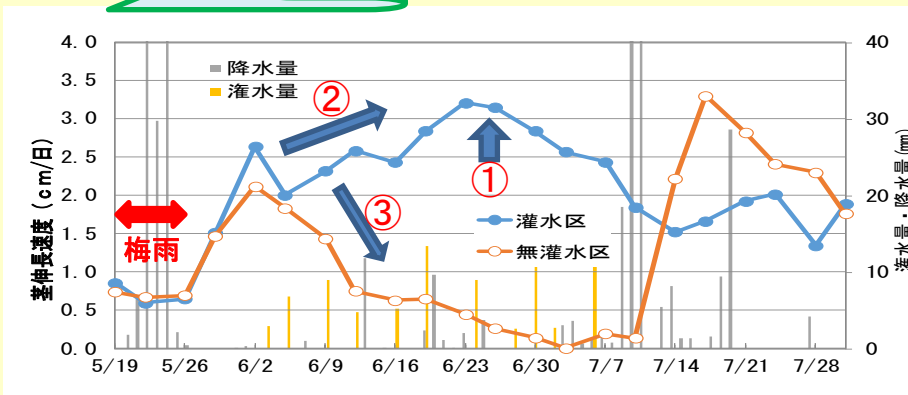
八重山地区の協議会は、県内で最初の機械士組織として設立され、現在は石垣市28名、竹富町36名、総勢64名の会員で構成されています。



上段左から：當銘千鶴子氏、金嶺至氏、高嶺会長
下段左から：當銘幸榮氏、霜鳥亨氏、伊集守正氏、仲松益實氏

今回の式典では、歴代会長4名と協議会設立の功労者、そして過去の全国トラクター耕競技大会へ県代表として出場した2名への功労者表彰がおこなわれました。初代会長である伊集守正氏はこれまでの活動について思い返し、「いろいろな苦労があったが、ここまでこれたのは皆さんのおかげです。これからも頑張っていってほしい。」と激励の言葉をかけられました。今年7月には沖縄本島で県農業機械士協議会30周年記念のトラクター耕競技大会が予定されており、八重山からも知花忠氏が地区代表として出場します。

～梅雨明け直後からの灌水がサトウキビの一番大切な灌水時期～



- ①6月は春植え・株出しの最高伸長期
- ②灌水により、高い伸びを持続させることができる。
- ③梅雨明け約1週間後から茎の1日当たりの伸びは急速に低下。

灌水区は無灌水区より1.7倍の増収 (H26 農研宮古データ)

最も伸長の盛んな梅雨明け直後から9月頃までの温度の高い期間に、7日～10日に1回の間隔で灌水を積極的に行う事により、サトウキビの増収を図ることができる。

暑さ
本番!

夏はジンジャーの輪紋病対策が必要です!

輪紋病って?



輪紋病の
症状



Phoma.sp

- ・葉に褐色の病斑ができ、葉が枯れる。
- ・カビの一種(Phoma.sp)による病気。
- ・この菌は、暑い環境(25~30℃)でよく増える。
- ・ジンジャーやゲットウで確認されている。

対策は?

殺菌剤の散布

降雨後は菌が広がりやすい状態。日頃の予防散布に加え、降雨後も殺菌剤の散布を!

遮光と敷草

夏の強い日光では根が乾燥して植物体も弱り、病気にかかりやすい状態に。遮光や敷草で根の乾燥を防ぎましょう。

新規就農者の皆様へ

八重山地区農でグッジョブ推進会議(事務局:農業改良普及課)では、新規就農者への支援として毎年新規就農講座を開催しています。平成28年度は5回講座を開催し9名の方が受講されました。当講座では出席率80%以上を達成された受講生に修了証書を授与しています。今年度も下記の内容で新規就農者を対象に新規就農講座を開催します。



昨年度の講座の様子

●募集人員:10名程度

●カリキュラム: ※都合により内容等について変更することがあります。

回	開催時期	内 容(案)	場 所
第1回	8月	・オリエンテーション開校式 ・「八重山地域の農業振興と展望」 ・農業に役立つ防災気象情報	農業改良普及課
第2回	9月	・農は土から～やさしい土の話～ ・総合的な病害虫の防除	農業改良普及課
第3回	10月	・農業機械の安全使用について ・GAPについて	農業改良普及課
第4回	11月	・施設の種類と利用について ・農業経営の基礎知識	農業改良普及課
第5回	12月	・「先進農業者に学ぶ」 ・閉講式 修了証書授与	現地研修 農業改良普及課

★ 興味のある方は、農業改良普及課までお問い合わせ下さい。

新役員紹介

【八重山地区農業士等連絡協議会】

(会 長)大浜 和重(竹富町)
(副会長)東 政廣(石垣市)・伊志嶺 和子(石垣市)
(書記・会計)杉本 繁文(与那国町)

【八重山地区農業機械士協議会】

(会長)高嶺英康 (副会長)當銘幸洋
(会計)大久勇真

【石垣島ファーマーズクラブ】

(リーダー)森井拓光 (マネージャー)西里篤

【八重山地区農業青年クラブ】

(会長)森井拓光 (副会長)杉本茂之
(書記会計)横目英寿

【与那国町農業青年クラブ】

(会長)杉本茂之

【黒島農業青年クラブ】

(会長)島仲大輔 (副会長)渡邊みくに
(会計)仲盛浩太 (事業部)宮良貴秋

【西表島農業青年クラブ】

(会長)横目英寿 (副会長)大浜一将
(書記・会計)水野友樹



自己紹介

4月から新しいメンバーが加わりました。

本田祥嵩 (ほんだ よしたか)

畜産研究センターで牛の改良業務を担当していました。八重山地域の肉用牛生産にご協力できるよう、微力ながら働かせて頂きます。

舞木紀玲 (もうぎ のりあき)

中央卸売市場から異動して参りました。特産物活用、ゴーヤーを担当します。少しでもお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

町田美由季

(まちだ みゆき)

やんばるで花きの担当をしていました。こちらでは水稻と花きを担当します。八重山ならではのことができるよう、農家のみなさんと知恵を出し合っていきます！よろしくお願い致します。

我那覇あんり

(がなは)

本年度新採用にて、八重山で野菜を担当します、我那覇と申します。八重山のいいところを一杯探しながら、野菜担当として精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



砂川喜信

(すなかわ よしのぶ)

糸満・宮古と8年間研究機関で勤務して、今年4月から農業改良普及課課長として赴任しました。重責を感じながら、普及事業の大切さや難しさを改めて感じる今日この頃です。

二度目の八重山赴任ですので、前回できなかった事にもいろいろ挑戦していきたいと思っています。

転出者

- 河野伸二 → 退職(農業研究センターで再任用)
- 橘 知行 → 営農支援課
- 秋田愛子 → 農業研究センター
- 後原智恵美 → 任期終了



お世話になりました